

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 生野区

学 校 名 巽南小学校

学校長名 牧野 恵美

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・巽南小学校では、第6学年 48名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の平均正答率は54で、全国平均より12.8ポイント、大阪市平均より11ポイント下回っていた。算数科の平均正答率は47で、全国平均・大阪市平均より11ポイント下回っていた。また、理科の平均正答率は47で、全国兵器より10.1、大阪市平均より8ポイント下回っていた。

児童質問紙調査では、「自分にはよいところがあると思いますか」の設問に対し、「当てはまる」と回答した割合は、全国平均・大阪市平均を上回っていたが、「将来の夢や目標を持っていますか」の設問に対し、「当てはまる」と回答した割合は、全国平均・大阪市平均を下回っていた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「知識及び理解」について、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の取り扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の全項目において大阪市平均・全国平均を下回り、課題が見られた。また、「思考・判断・表現」についても、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の項目において、大阪市平均・全国平均を下回り、基礎・基本的な事項について課題が見られた。

〔算数〕

「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の全項目において、大阪市平均・全国平均を下回っていた。特に、「数と計算」の項目については、大阪市平均を11.4ポイント下回り、今後の課題だといえる。

〔理科〕

「エネルギー」領域、「粒子」領域、「生命」領域、「地球」領域の全項目において、大阪市平均・全国平均を下回っていた。特に、「生命」領域では、大阪市平均より16.5ポイント下回っており、課題が見られた。

質問調査より

「自分にはよいところがあると思いますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答している割合が、大阪市平均・全国平均を上回っていた。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対しては、全児童が肯定的に回答しており、日ごろのいじめは絶対にいけないという指導が浸透している様子が見られる。

しかし、「朝食を毎日食べていますか」「将来の夢や希望を持っていますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答している割合は、大阪市平均・全国平均を下回っていた。「朝食を毎日食べる」という基本的な生活習慣に関する課題が見られた。

今後の取組(アクションプラン)

・3年生以上で教科担任制を導入し、個に応じた支援を積極的に進め、よりきめ細かな指導ができるようにしていく。どの教員も丁寧な授業を行っており、子どもの学習に対する意欲は高いが、結果に結びついていない。今後も専科制を継続させ、引き続き「楽しく・わかりやすい授業づくり」を目指して研究や研修を実施し、授業力の向上を図っていく。

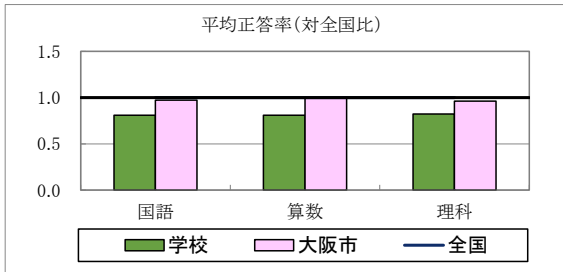
・基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けることができるように、デジタルドリルや学習教材データ配信を活用して、個に応じた指導をさらに推進していく。

・1人1台端末やデジタル教科書、ICT機器やデジタルコンテンツ等を積極的に活用して、児童が互いの意見を交流し、学習により主体的に取り組むことができるような授業を展開し、学力の向上を図っていく。

【 全体の概要 】

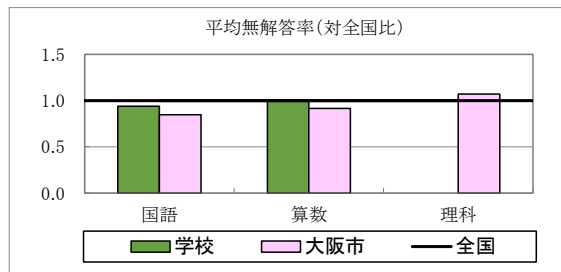
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	54	47	47
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	3.1	3.6	4.1
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



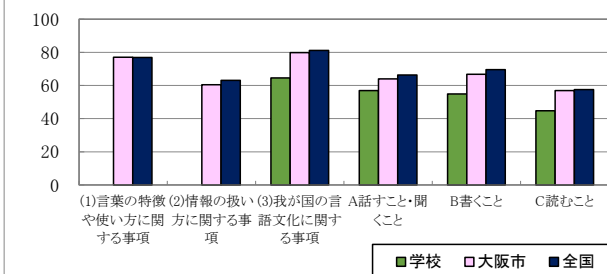
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	65.6	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	52.1	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	64.6	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	56.9	64.0	66.3
B 書くこと	3	54.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	44.8	56.9	57.5

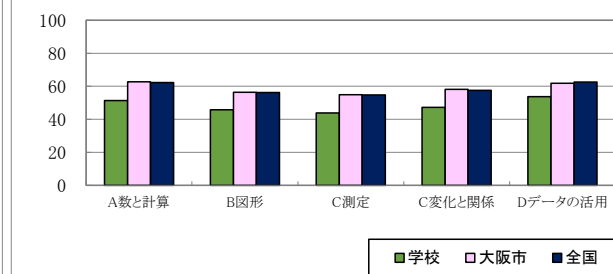
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	51.3	62.7	62.3
B 図形	4	45.8	56.4	56.2
C 測定	2	43.8	54.9	54.8
C 変化と関係	3	47.2	58.2	57.5
D データの活用	5	53.8	61.9	62.6

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)

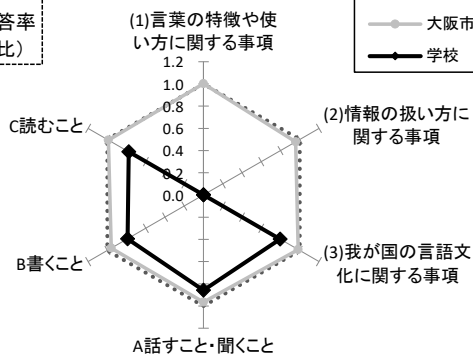


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



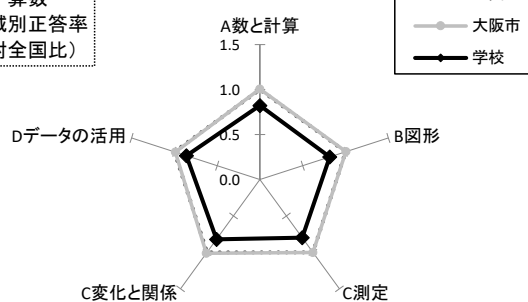
国語

内容別正答率
(対全国比)



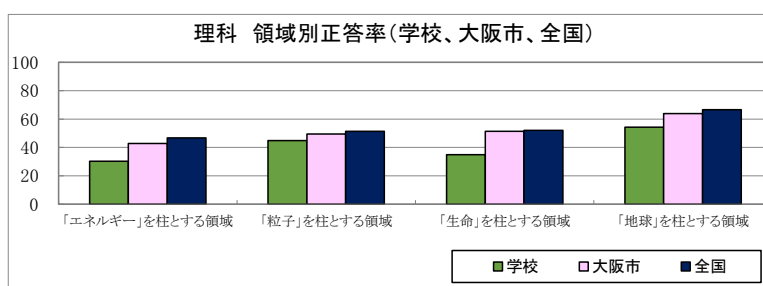
算数

領域別正答率
(対全国比)

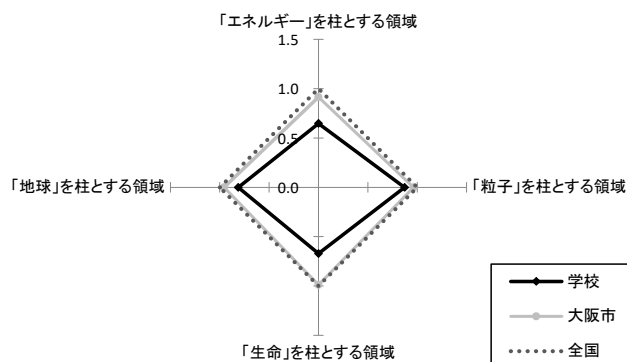


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分 「エネルギー」を 柱とする領域	4	30.2	42.7	46.7
分 「粒子」を 柱とする領域	6	44.8	49.5	51.4
B 区分 「生命」を 柱とする領域	4	34.9	51.4	52.0
分 「地球」を 柱とする領域	6	54.2	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

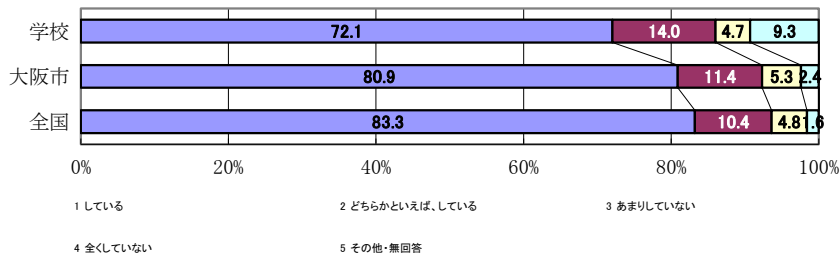
質問番号

質問事項

1

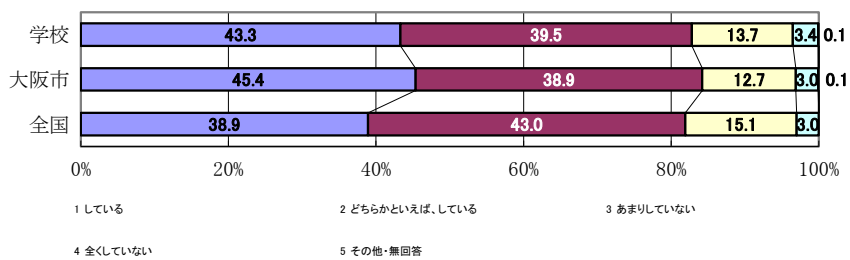
朝食を毎日食べていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



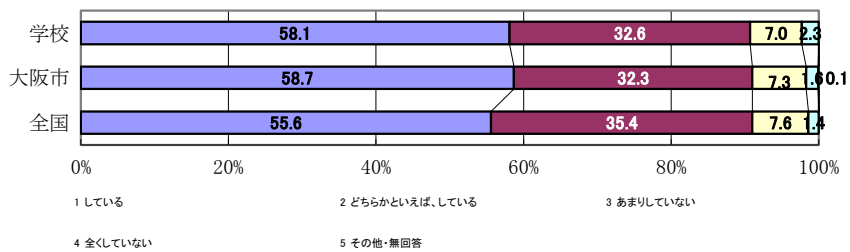
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



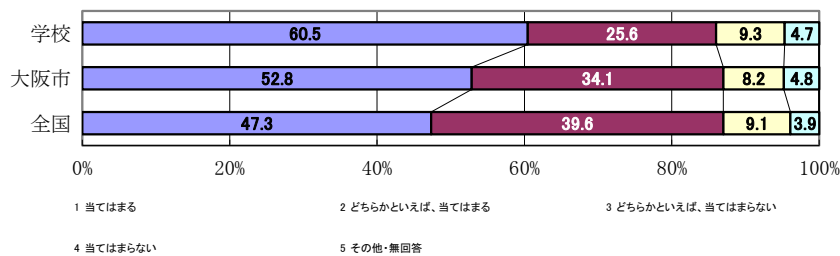
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



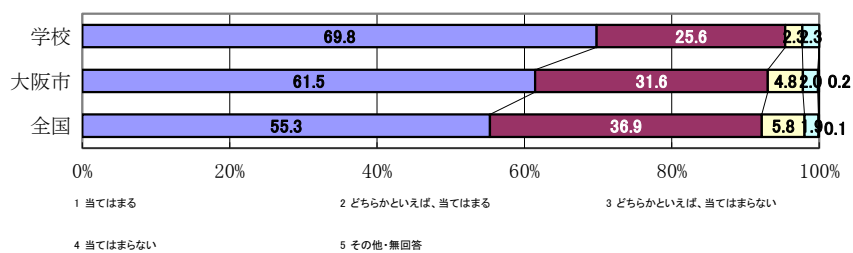
5

自分には、よいところがあると思いますか



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



児童質問より

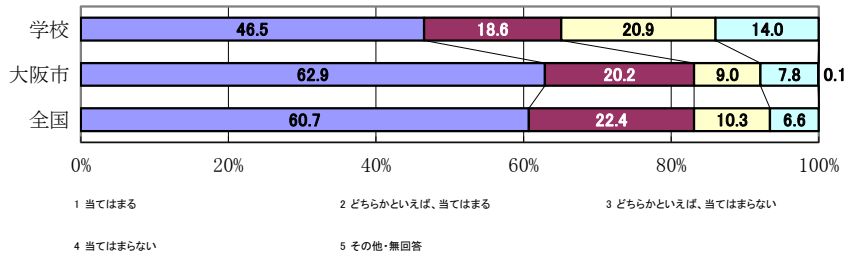
質問番号

質問事項

7

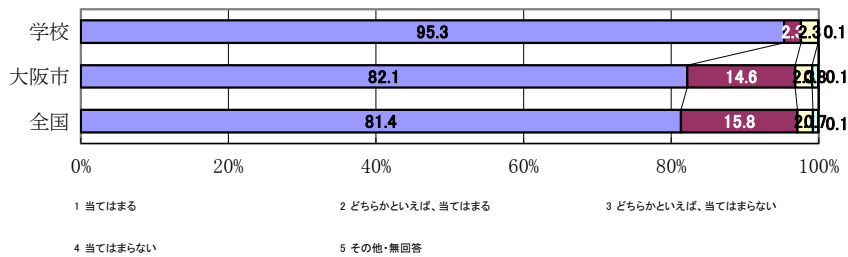
将来の夢や目標を持っていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



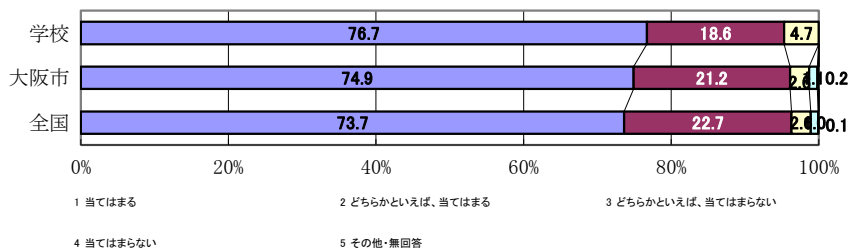
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



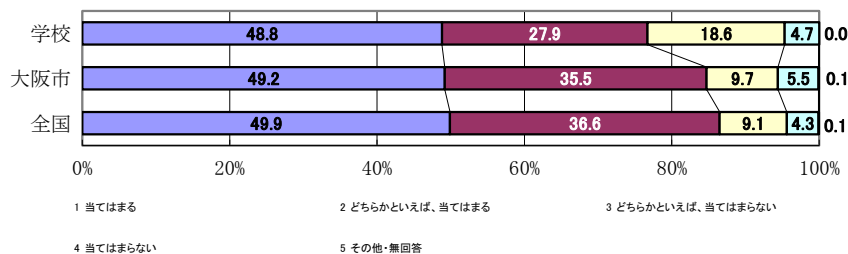
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



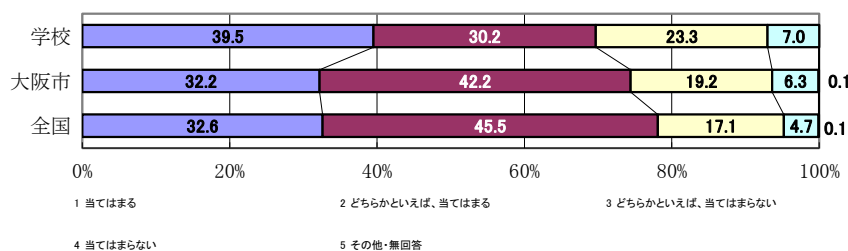
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



児童質問より

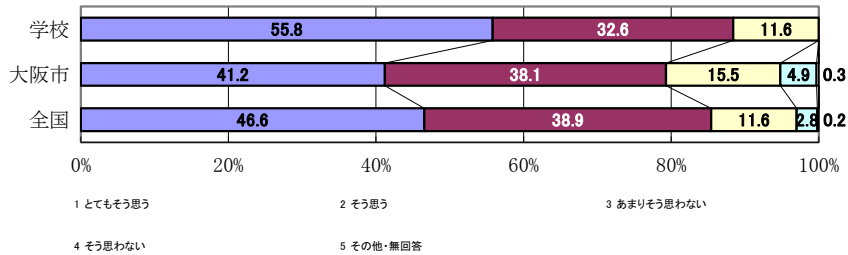
質問番号

質問事項

78

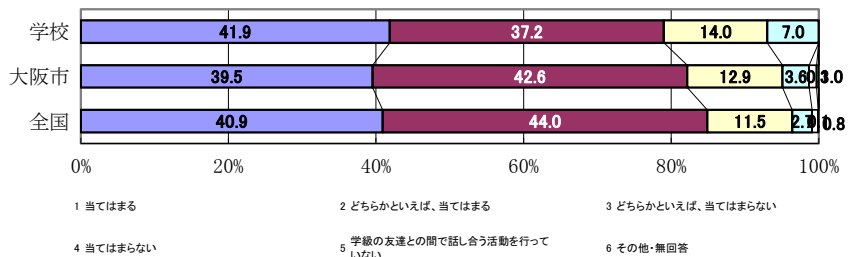
5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(3)楽しみながら学習を進めることができる

1 2 3 4 5 6 7 8



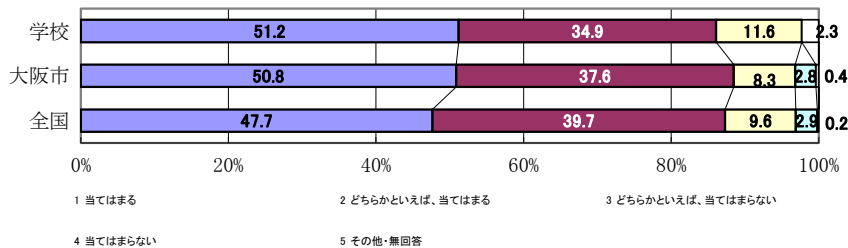
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



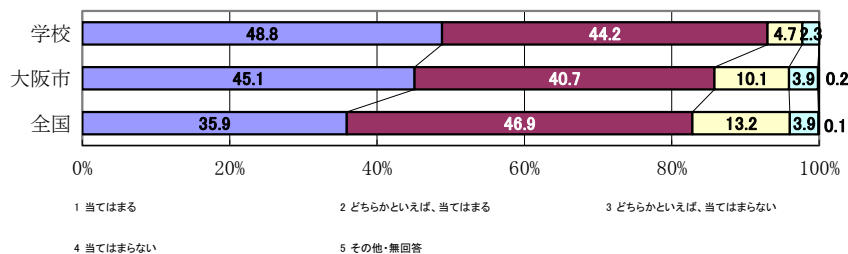
38

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



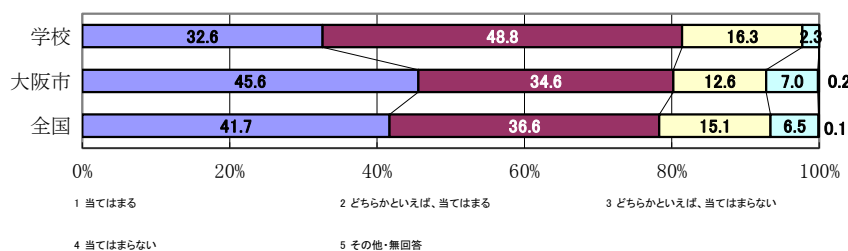
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



54

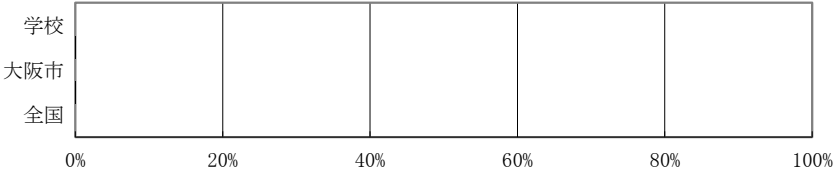
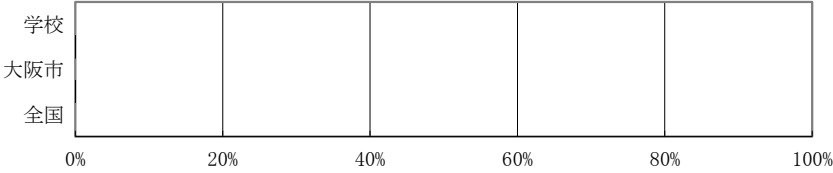
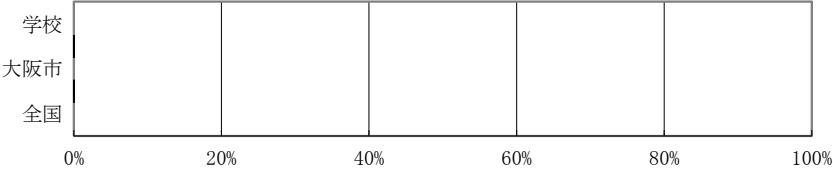
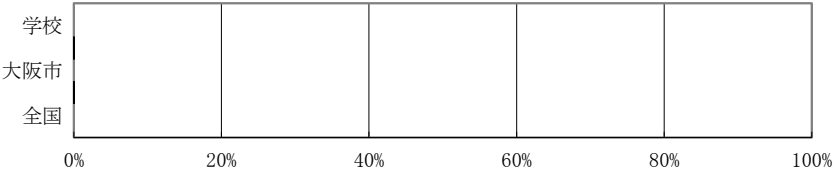
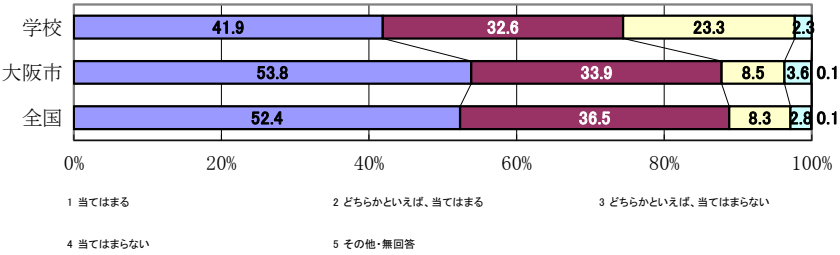
算数の授業の内容はよく分かりますか



児童質問より

質問番号
質問事項

62
理科の授業の内容はよく分かりますか



学校質問より

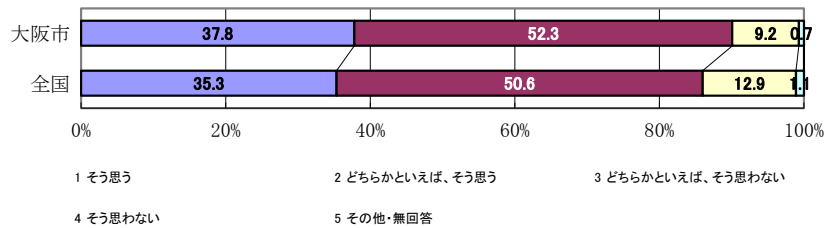
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

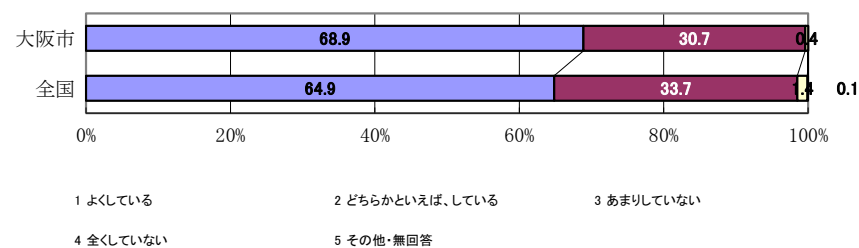
学校 「そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

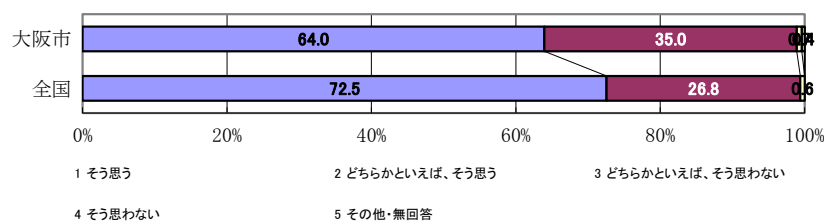
学校 「どちらかといえば、している」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

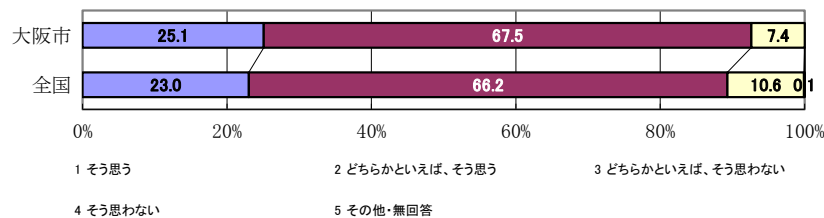
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用)」を選択

